

広島別院だより

Vol.50
秋号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会 発行

秋彼岸会が勤まる

九月二十四日に秋彼岸会が厳修されました。

この度の法話は、加藤真樹山陽四国教務所長に「聞くべきか」というテーマのもと、お話しいただきました。以下、法話の抄録です。

●聞くことの大切さ

今回のテーマに挙げたのは、木越樹氏（元真宗大谷派宗務総長）のお言葉である。木越氏が年賀状にしたためた「聞いてるか 聞く身になれたか 聞くべきか」という言葉を故池田勇諦先生（桑名西恩寺 本年六月御命終）が「何よりもこの言葉に私が打たれまわしてね」と噛みしめながら紹介された。その感動されていた姿が忘れられないのである。

故伊藤元先生（小倉徳蓮寺）は「見る、考えるはその人の範囲内のこと。聞くことは仏に遇える唯一の経験」と言われた。私たちはどうしても自身自身の価値観や都合を中心にしたり考えたりする。それは結局、自分の価値観の範囲を超えることは出来ない。しかしその価値観を破る仏様の智慧に遇うには仏法を聞くことに尽きるのだという。伊藤先生は「浄土真宗は聞くことに始まって、聞くことに極まる」という言葉を残された。私は日常生活に追われ、ついつい聞けない理由ばかり考えてしまう。だからこそ伊藤先生のこの言葉を大事にしたい。



●聞くことさえも答えになってしまう

私は先輩方から「聞き続けなさい。問い続けなさい」と折にふれて言われてきた。しかし、この言葉もいつの間にか聞き慣れてしまつと、「問い続けることが大事なのだ、以上」という具合に「聞く」ことさえも答えになってしまう。気を抜くと、ついつい答えに座り込んでしまう。私たちは答えをすぐに出そうとする癖がついてしまっているのだらう。

私が今もずっと大事にしている「問いは人をつなぐ。答えは人を分断する」という言葉がある。答えを持った者同士に対話は無い。しかし問いを大事にしていくと人はつながっていくのではないか。迷う者同士がつながっていくことの大切さを今まで出会ってきた先輩方は教えてくれたのである。

●聞く身に育つられる

私は念仏しながら真宗門徒に成っていくということをお教わった。真宗門徒だから念仏するのではない。真宗門徒の家に生まれたから念仏するのではないのだ。念仏申すことで、少しずつ真宗門徒に成っていくのだと教えられた。念仏申すことで仏様から「あなたには本當のことが聞こえていますか」と問われているのだ。虚仮不実のこの身に於いて、仏様のはたらきが無ければ本當のことに気づくことなく、何でも答える側にあぐらをかいてしまう。問いが無くなるのである。そんな私たちに先輩方が「気づけ、気づけ」と道を切り開いてくれた。



てくださったのである。その道を大事につないでいき、共に教えを聞いていこうと声を掛け合っていく。私たち一人一人に出来ることは、そういうことなのではないだろうか。その道を引き受けて、これからも皆さんと共に仏様の智慧を聴聞していきたいと思つたのである。

仏教入門講座開催

八月二十三日に仏教入門講座が開催されました。講師の真城義磨先生は「学力とは学んだ力ではなく、学ぶ力、学ぼうとする姿勢のことである。そして学問とは問うことであり、学べば問いが出て、考えて気づく。そして新たな問いが出てくるというサイクルが学問である」と「学ぶ」をテーマにお話しされました。次回は十二月二十二日開催です。



広島別院

団体参拝

左記の団体が広島別院に参拝されました。お参りいただき誠にありがとうございました。ございました。

◆六月二十六・二十七日

名古屋教区第七組様
（非核非戦研修会）

◆九月九日

大阪教区坊守会様



泉原輪番と大阪教区坊守会の皆様

親鸞聖人の生涯を辿る

義絶

面授という言葉があります。直接真向いになって教えを受けたという意味ですが、関東の門弟たちの異義を正すために父親鸞からの命を受けて関東に向かった善鸞は、どうも親鸞面授の門弟たちから相手にされなかったようです。血縁よりも直接教えを聞いたということが重いものだったのでしょうか。

その後、関東の門弟たちから親鸞のもとに届けられた手紙は驚くべきものでした。善鸞が「私は父の親鸞から念仏以外の浄土往生の法を聞いた。あなたたちは本当の往生の道を知らないのだ」と言っていることから、関東で混乱が起きているという訴えが書かれていたのです。どうやら異義を正すために関東に向かった善鸞が、有力者たちを抑えることが出来ず、自分の権威付けのために親鸞を利用し、その結果さらなる大混乱を招いてしまったようです。

親鸞が自分の名代として善鸞を関東に派遣したのであれば、息子のことを信頼していたのだと思われる。しかししよりによって自分が生きてきた本願念仏の教えを否定するか、そんなことを吹聴していると聞かされ、どんな想いだっただろうか。その後、親鸞は善鸞と親子の縁を切ることとなったのです。

法座・講座等のお知らせ

12月3日(水) 4日(木) 報恩講

【講師】 藤間哲祐 先生(福山市明正寺)

【日程】 3日(水) 14:00～勤行(雅楽入り)と法話

16:30～御伝鈔の拝読

4日(木) 8:00～勤行と法話

10:00～勤行(雅楽入り)と法話

〈親鸞聖人の御祥月命日を縁として勤める浄土真宗の最も大切な法要です〉

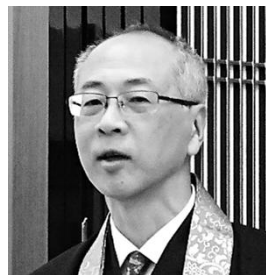


12月22日(月) 仏教入門講座 (第3シーズン)

【講師】 真城義麿 先生(元大谷高校校長)

【日程】 毎回 13:30～16:00 【会費】 500円

日常生活の様々な疑問を仏教に学ぶ講座です。ぜひご参加ください。



毎月5日 定例法話 (ご今日の集い)

【講師】 県内僧侶(月替わり) 【日程】 14:00～勤行と法話(15:00 終了予定)

広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。

道場樹【編集室より】

今年八月に子供が生まれまして。母子ともに健康です、と言いたいところですが、母親は出産の時間が短すぎたせいで産道が傷つき、十月現在も出血がなかなか止まりません。子は子で産後二日目に感染症と一過性過呼吸であることが判明し急遽転院し、NICUに一週間ほど入院しました。現代医学の偉大さを実感しましたが、出産の喜びも東の間、不安と心配で毎日を過ごすこととなりました。生きているだけで尊いとは、こういうことを言うのだなと改めて思い知らされました。

女性はお腹に命を宿してから母となりますが、男性は子どもが生まれてから初めて実感を伴った父となるので、私が子どもを育てているのか、私子どもに親として育てられているのかわからないまま、日々格闘しています。本当に毎日がてんやわんやで、毎日が学びです。妻や子どもに感謝する一方で、慣れてきたら当たり前前の事として感謝もしなくなるのかなと思うと、自分が情けなくなってきました。



(N・T)

真宗大谷派(東本願寺)

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

広島別院 明信院

TEL 082-241-5342 (電話・FAX 共通)

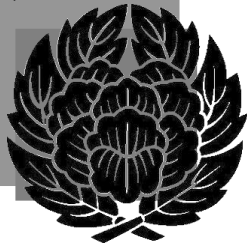


ホームページ QR コード

東本願寺 広島別院

検索

広島別院明信院



報恩講

宗祖親鸞聖人は、1262（弘長2）年11月28日に、90歳の生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いるためのお勤めが報恩講です。お念仏の教えを聴聞し、自分の生活を振り返る、一年でもっとも大切な御仏事として全国各地の寺院・教会をはじめ、ご門徒の家々でも勤められており、「お取越し」や「お引上」の名でも親しまれています。

このたび、広島別院明信院報恩講を下記のとおり勤修いたします。
つきましては、お誘い合わせのうえ、ご参詣くださいますようお願い申し上げます。

期 日 12月3日（水）～4日（木）

日 程 12月3日（水）

14：00 お逮夜・法話

16：30 初夜 引き続き 御伝鈔（上巻）

18：00 終了予定

12月4日（木）

8：00 晨朝・法話

10：00 日中・法話

12：30 終了予定

講 師 備後組 明正寺
藤間 哲祐 師





山陽仏青

2025年 11月 第3号

発行所

山陽教区仏教青年会連盟

〒674-0044 姫路市地内町1番地

TEL 079-292-3690

発行者：日野 和雅

編集者：邨上 新 南枝 讓

若者のついで

2025年6月14日(土)船場別院本徳寺にて、「仏青若者の集い」を開催しました。「私たちはどう生きようか?」というテーマのもと、御講師に梶原敬一師をお招きしての講義、その後の座談会という内容に仏青会員を含めて有縁の若者約50名、子ども約20名が参加しました。

講義では、「将来のために今を犠牲にするか、今のために将来を無視するかではなく、今を生きるということと未来に向かって生きるということがひとつになるときにはつきりすることがある。」「面白いことと楽しいことには違いがある。時には苦しいと感じるけれど、楽しいということが

ある。自分を忘れるような面白いことではなく、自分が生きている感覚を取り戻す楽しいことを求めていってほしい。」とお話いただきました。座談会では、講義の内容を聞いて感じたこと、日常生活での悩みを通して活発に言葉が交わし合われました。企画が立ち上がった当初、仏青会員の中からは、「若者に来てもらおうと思ったら、関心を惹く催しが必要ではないか?」ということから、マルシェや著名人の講演なども提案されましたが、「他の場所でもしているようなことではなく、お寺でしかできないことをしよう」ということで、伝統的な講義・座談という形式での開催に踏み切りました。「これで若者が参加してくれなかったとしたら、そこから改めて始めて行こう」という思い切りではありませんが、結果的に期待以上に多くの若者が参加してくれました。「宗教は敬遠されるのでは

ないか?」という不安が払拭され、「若者もお寺に来てくれる」「共に教えを聞いていくことができる」と、世代や立場を超えて響き合う教えをいただいている実感をもった取り組みでした。仏青には、自坊においても若者対象の集まりを立ち上げた会員がいます。取り組みを通して「お寺がこんな場所とは知らなかった」「もっと早くに始めてくれれば良かったのに」という声を聞いています。私たちの身近にも、教えを求め、お寺に期待している若者がいるのではないのでしょうか。

↓白書院を保育士常駐の託児所として開放し、親子で安心して過ごせる場を目指した。



↑普段お寺と疎遠になりがちな若者が静かにお話に耳を傾げる時間となった。

～2024年度 山陽教区仏教青年会連盟 事業報告～

開催年月日	事業名	研修内容等
令和6年	10月9～11日	能登半島地震災害支援ボランティア 災害支援活動『現地視察,炊き出し,瓦礫撤去』 (真宗大谷派奥能登ボランティアセンター)
	10月18日	例会 『今後の活動について』 輪読会『テキスト:真宗児童聖典』
	12月23日	総会 中間期総会
令和7年	1月17日	阪神淡路大震災追弔会 ※社会問題部門との共催 街頭募金活動(三宮センター街にて) 追弔法要(神戸市教育会館)
	2月6日	例会 輪読会『テキスト:真宗児童聖典』
	3月11日	東日本大震災追弔会 街頭募金活動(西二階町商店街にて) 追弔会『勿忘の鐘』
	3月11日	例会 『今後の活動について』
	4月24～25日	報恩講 フィールドワーク 『厳護法城～厳かに法の城を護る～』講師:海法龍師 一泊研修会(船場別院本徳寺にて)
	5月21日	例会 『規約改正・改編協議』
	6月14日	若者教化事業 [若者のつどい] 『私たちはどう生きようか』講師:梶原 敬一 師
7月17日	総会 2024年度末総会	

WEB会議実施日 2024/8/2,8/29,9/29,10/28,12/5 2025/5/29

～年度末総会報告～

二〇二四年度末総会を令和7年7月17日に山陽四国教区同朋会館にて行い、事業報告ならびに会計報告のご承認を頂き、同日に行われた役員改選により、日野和雅が委員長に再任されました事をご報告いたします。

なお、今年度より山陽教区仏教青年会連盟は、新たに発足した「山陽四国教区仏青・児連連絡協議会」の加盟団体となり、同連絡協議会の会員として、当会より代表して日野和雅・天川岳洋の両名が選出されました事を合わせてご報告いたします。



二〇二五年度

山陽教区仏教青年会連盟

役員一覧

- | | | |
|-----------|-------|----------|
| 委員長 | 日野 和雅 | (第4組善覚寺) |
| 副委員長 | 北風 智史 | (第4組願成寺) |
| 「兼:編集・広報」 | 南枝 謙 | (第2組龍寶寺) |
| 事務局 | 青山 祐一 | (赤穂組光明寺) |
| 会計 | 天川 岳洋 | (第5組福乗寺) |
| 「災害基金担当」 | 松岡 彰 | (第2組法性寺) |
| 会計監査 | 後藤 海 | (第7組光圓寺) |
| 編集・広報 | 藤原 成道 | (第5組安楽寺) |
| | 柳上 新 | (第5組眞宗寺) |

今後の予定

【阪神淡路大震災追弔会】

例会:動画鑑賞会と座談
日時:1月17日(土)15時から
場所:山陽四国教区同朋会館にて

【東日本大震災追弔会】

例会:グラウンドゴルフ大会と座談
日時:3月11日(水)15時から
場所:船場別院本徳寺にて

山陽教区仏教青年会連盟 会員募集中!

有縁の皆様の参加をお待ちしております♪
お問い合わせ

真宗大谷派山陽四国教務所 [担当:高浜]

〒670-0044 兵庫県姫路市寺内町1番地

TEL 079-292-3690



法話を聴聞してスタンプを集めよう!!



2025年 間スタ! 開催

応募方法

「達成された方には記念品をお渡しいたします」

真宗本廟・本徳寺・協賛寺院の報恩講に参加して法話を聴聞してスタンプを集めて応募ください。

①特別聴聞コース (計6ヶ寺)

東本願寺(真宗本廟)・船場本徳寺又は御山廟所・お手次のお寺協賛寺院又は有縁のお寺(3ヶ寺)のスタンプを集めて応募!

②有縁寺院聴聞コース (計3ヶ寺)

船場本徳寺又は御山廟所・お手次のお寺・協賛寺院又は有縁のお寺のスタンプを集めて応募!

お問い合わせ 船場本徳寺 079-292-0580

ほうおんこう 報恩講

2025(令和7)年11月16日~18日

16日(日)



13:30 初逮夜	初夜勤行
14:30 合唱「コールサンガ」	16:00 御伝鈔拝読
15:00 法話 川村 妙慶師	後夜勤行

17日(月)

8:00 晨朝
8:45 法話
第4組 光尊寺 上岸 佑介 師

13:30 逮夜
御俗姓拝読

17:00 初夜勤行

10:30 日中
11:30 法話
第5組 常念寺 赤松 豊永 師

船場御坊寄席



18日(火)

8:00 晨朝
8:45 法話
第7組 西助寺 後藤 順 師

16日(日) 法話 川村 妙慶師(かわむら みょうけい)



1964年 北九州市真宗大谷派西蓮寺の長女として生誕。FM大阪、テレビ西日本、NHKラジオ番組等を経験。主な著書に『人生後半こう生きなはれ』(講談社)など多数。

9:45 御坊幼稚園 報恩講

10:30 結願日中
11:45 法話
第2組 法性寺 松岡 彰 師

皆様、ぜひお誘いあわせのうえお参りください。

皆さまの尊い御懇念を宜しくお願いいたします。

姫路船場別院本徳寺 本堂御修復

瓦 懇 志

一口 金 壱万円也

募集期間 2029年3月31日まで

種類 本堂平瓦

記名 一口につき、瓦1枚に1名分の御芳名、または法名を記名します。

第2工事 表門御修復の様子



表門前の石橋を修復しました。割れた石橋は取り替え、据え直し、欄干の復元を行いました。



石畳の凹凸や隙間を埋める修復がされました

「仏前結婚式」が執り行われました



御結婚 おめでとうございます



十月十九日、第五組光念寺本多眞慧さん 茉由さんとの結婚式が光念寺御本尊前にて執り行われました。別院職員も仏前結婚式の準備と式のお手伝いをさせていただきます。ありがとうございました。



発行所 真宗大谷派 姫路船場別院 本徳寺

発行人 輪番 加藤真樹

〒670-0044 姫路市地内町1番地

寺務所 TEL079-292-0580 FAX079-228-0415

御山廟所 TEL079-292-9110

LINE 船場本徳寺 公式 LINE

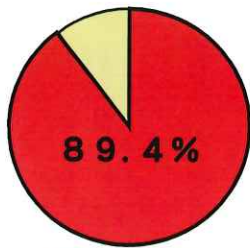
公式LINEアカウントを開設しています。本徳寺の情報を配信していますので、LINEのホーム画面「友だち追加」から下記QRコードを読み込んでご登録の程お願いいたします。

友だち登録をお願いします。



瓦記名イメージ

【お問い合わせ】 本徳寺寺務所 079-292-0580



— 収納率

御修復特別募財 収納状況

総御依頼額	665,500,000円
収納額	594,916,291円
完納寺院数	81ヶ寺/131ヶ寺
収納寺院数	130ヶ寺/131ヶ寺

2025年10月20日現在

有難うございます。
引き続きよろしくお願い申し上げます。

「藤棚」新設工事

かねてよりお願いしておりましたが「藤棚」新設工事が完了しました。

藤の苗木は、最適といわれる2~4月頃の時期に植えつけを予定しています。

ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。



■ 工事区間

石畳舗装工事

- ・ 工事期間(予定) 11月上旬~12月中旬
- ・ 作業時間 9時~17時
- ・ 規制方法 車両通行止または一部規制

※長期間にわたり、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

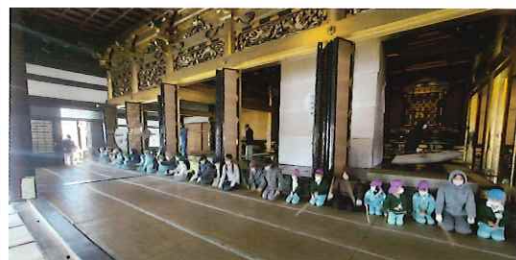
第四期本徳寺山門前
石畳舗装工事のお知らせ

船場御坊楽市

開催日 12月7日(日)
午前9時~12時頃



主催 まちづくり船場・城西の会 <http://www.himesen.com>



【日時】毎年12月25日 午前10時~

【場所】本徳寺本堂

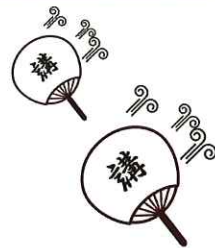
【持参品】軍手・マスク・手ぬぐい等

※掃除ですので汚れても構わない服装でお越しください。

※どなたさまでも参加できます。

※ご参加の方には終了後、豚汁をご用意いたします。

※お問い合わせ 079-292-0580 本徳寺寺務所まで



定例法要

場所 姫路船場別院本徳寺 本堂

時間 午後1時~ 勤行
午後1時半~ 法話

講師 11月12日(水)
先門首御命日逮夜
赤松 宰 師 (第3組 西樂寺)

11月27日(木)
宗祖聖人御命日逮夜・先住職御命日逮夜
武田 典久 師 (第7組 真行寺)

皆様お誘い合わせのうえ、お参りください



姫路船場別院本徳寺

石柱永代御懇志のお願い

お念仏のみ教えを伝えてくださった先達方のご遺徳を偲び、永代経法要をご縁に私自身が聞法に励み、その感動を子や孫、有縁の方々に伝えていきたいと思います。皆さまの尊い御懇念を宜しくお願いいたします。

1本 金50万円也

石柱に御芳名、企業名、御寺院、市町村名を彫刻させていただきます

【お問い合わせ】 本徳寺寺務所 079-292-0580



安芸南組寺族教学研修会『宗祖に学ぶ正信偈』

安芸南組で独自に寺族対象の研修会を開催しておりましたが、より多くの方々と交流を図りながら共に教学研鑽の場を持ちたいと思うに至りました。

講義はその「経典」と宗祖「教行信証」の関連を紹介しつつ進められます。

本年度は正信偈を読み進めていきます。

対象：寺族（僧分と坊守）

会場：広島別院 明信院（広島市中区宝町4-16）

講師：桑門 真昭 師（真宗大谷派擬講、安芸南組 常念寺ご住職）

持ち物：間衣、輪袈裟、念珠

・テキスト・

① 東本願寺『真宗聖典』第二版

② 「解説 教行信証 上巻」 東本願寺 定価 4,180 円

③ 「解説 教行信証 下巻」 東本願寺 定価 4,180 円

④ 「浄土三部経（現代語訳版）」現代語シリーズ

浄土真宗本願寺派総合研究所（編） 定価 1,320 円

※テキストは事前に東本願寺出版部、本願寺別院、ネットショッピングサイト等でお求めください。

・参加費：1回 500 円

・13時30分より受付

日時：2025年8月21日（木）14時～17時迄

2025年10月23日（木）14時～17時迄

2025年12月24日（水）14時～17時迄

2026年2月19日（木）14時～17時迄

2026年4月23日（木）14時～17時迄

2026年6月25日（木）14時～17時迄

※受講に際し、事前申込等は必要ありません。※

教学研修会・明慶寺 長坂壽一 電話番号 0823-57-2022

Fax0823-57-2137

2025年10月24日

各教区坊守の皆様

近畿連区坊守会長 山雄 美樹



(当番教区)

京都教区坊守会長 三原 浩美



2025年度近畿連区坊守会研修会の開催について (案内)

謹啓 秋長の候 皆様におかれましては益々ご精進のことと存じます。

平素は、近畿連区坊守会にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は京都教区の当番にて、下記のとおり標記研修会を開催させていただくことになりました。『同朋新聞』に「親鸞聖人にであう」を連載されていた乾先生をお迎えし、目の前のことに振り回されて本当に大事なことを見失っていた一人ひとりが、み教えを聞き、自分に目を向けて問い、自分を開いていくために立ち止まる機縁になることを願っています。

皆様お誘いあわせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬 具

記

【期 日】 2026年2月26日(木)～27日(金)

【会 場】 **研修会場** しんらん交流館 大谷ホール
アクセス→
京都市下京区諏訪町通六条下ル上柳町199 Tel:075-371-9208

懇親会会場・宿泊会場 都ホテル 京都八条
アクセス→
京都市南区西九条院町17 (京都駅八条口) Tel:075-661-7111

【テ ー マ】 いま 寺に生きる ～問いとともに歩む生活を～

【講 題】 「聞・問・開」という歩み

【講 師】 乾 文雄 氏(京都教区近江第5組正念寺住職/大谷中学・高等学校校長)

【参加費】 18,000円 【宿泊なし(懇親会つき)は12,000円】

※所属教区坊守会長へお支払いください。

【募集人数】 110名
京都教区50名/大阪教区30名/山陽四国教区30名

・当日、WEB配信は行いません。

【携 行 品】 念珠、真宗大谷派勤行集(赤本)、真宗聖典(第2版・初版も可)、坊守章、その他各自必要なもの



【日 程】

2月26日(木)		2月27日(金)	
12:00	受付	07:00	朝食・チェックアウト
12:30	開会式・オリエンテーション		各自しんらん交流館へ移動
13:10	講義(休憩含む)	09:10	晨朝勤行(山陽四国教区)
14:55	夕事勤行(大阪教区)		感話(各教区から1名)
	感話(各教区から1名)	10:00	講義(休憩・質疑応答含む)
	班別座談部屋へ移動		
15:40	班別座談会	11:45	閉会式
16:50	懇親会宿泊会場へ移動		記念撮影
18:30	懇親会	12:10	解散
20:30	1日目終了		

※ 両日とも昼食は各自でお済ませください。

※ 日程は都合により変更することがありますのでご了承ください。

【申込方法】 申込締切：2026年1月20日(火)

※参加費を添えて、申込書を所属教区坊守会長へご提出ください。

- ・食べ物アレルギー等特記事項がある場合は、申込時にお知らせください。
- ・ホテルではチェックイン前とチェックアウト後の荷物預かりが可能です。
- ・駐車場は宗務所・しんらん交流館隣にあります。駐車台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・部屋割りはツインが基本ですが、シングル希望の方は各教区会長にご相談ください。(要追加料金)

【キャンセル及び変更について】

- ①全日程をキャンセルされる場合は、2月23日(月)午後4時までに京都教務所へFAXにてご連絡ください。また、所属教区坊守会長にもご連絡ください。
- ②上記期日以降に全日程をキャンセルされる場合は、全額お支払いとなりますことご了承ください。
- ③その他変更等ある場合は、事務局へお早めにご連絡ください。

【お問い合わせ】 京都教務所(担当：吉田)

〒600-8164 京都市下京区諏訪町六条下る上柳町201

[TEL] 075-351-5260/[FAX] 075-351-5256

以 上

----- 切り取り -----

2025年度近畿連区坊守会研修会申込書

組	寺・院・坊・教会	ふりがな氏名
アレルギー	交通手段	備考欄
無		
有()		

※「前方の席希望」等ご要望がございましたら、備考欄へご記入ください。